

学校の 適正配置規模に関する 検討について

下野市の教育行政は、市民の皆様や関係各位のご協力により着実に進んでいます。

3町合併により、通学距離の不均衡など地域間のアンバランスなどを解消するため、平成18年に、通学区域審議会を立ち上げ審議をしました。

さらに、少子化の対応や質の高い教育環境を提供するために、全市的な視野での学校配置や規模について検討するため、昨年より学校適正配置検討委員会を設置し、学校の視察を行い議論を重ねてきたところです。

そこで、検討材料とさせていただきますため、市民、保護者、児童生徒、教職員に対し、アンケート調査を実施しました。このたび調査の結果がまとまりましたので、抜粋してお知らせします。詳細については市ホームページ、または教育総務課（石橋庁舎）、各公民館に置いてありますのでご覧ください。

【調査の概要】

● 調査対象者、回収結果

アンケート対象		配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
児童生徒	小学5年	670	663	99.0
	中学2年	582	563	96.7
保護者	小学2年	659	535	81.2
	小学5年	670	622	92.8
	中学2年	582	525	90.2
教職員		353	314	89.0
一般市民*		1,500	622	41.5

平成21年7月1日現在で住民基本台帳から無作為に1,500人抽出

● 調査方法

① 児童生徒、保護者、教職員は学校へ依頼

② 一般市民は郵送による配布・回収

● 調査期間

平成21年8月～9月

問い合わせ先

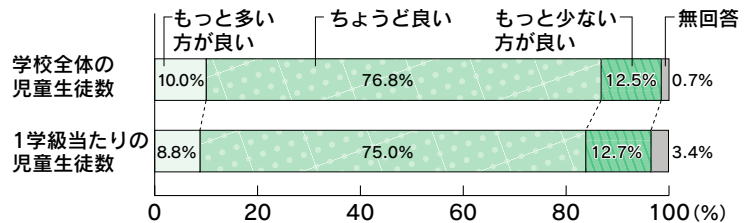
教育総務課 ☎52-1117

● 適正な学級数、児童生徒数に関する意識について

① 児童生徒の意識

児童生徒に対して、現在通っている学校全体の児童生徒数、1学級あたりの児童生徒数について質問したところ、「ちょうど良い」が多数でした。

児童生徒の人数について



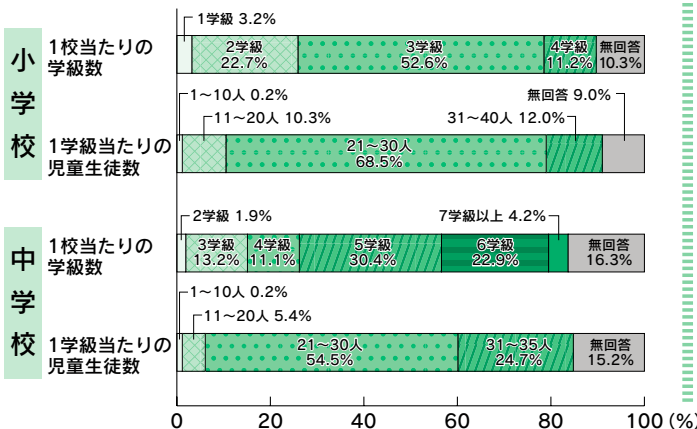
② 保護者の意識

保護者に対して、望ましいと思われる1学年あたりの学級数を質問したところ、小学校は「3学級」、中学校は「5学級」が最も多く、1学級あたりの望ましい児童・生徒数は、小・中学校ともに「21～30人」が最も多い結果でした。1学級あたりの人数は、小学校は40人(国基準)、中学校は35人(県基準)

③ 一般市民の意識

② 保護者と同様の質問をしたところ、保護者と同様の結果でした。

望ましい児童生徒数



望ましい児童生徒数

